

# 事業報告目次

総括 .....	1
<b>1. 地域づくりの推進 .....</b>	<b>3</b>
(1) 福祉協力員による小地域ネットワーク活動	
(2) 福祉情報メール配信事業（情報 ほっとメール）	
(3) 救急医療情報キット（安心キット）配布事業	
(4) 企業連携型見守り活動事業	
(5) 高齢者を対象とした小地域での「ふれあい・いきいきサロン」	
(6) 高齢者地域支え合い活動拠点整備事業	
(7) 地区社協（地区コミュニティ福祉部会）との連携による住民参加活動	
(8) 一人暮らし高齢者友愛訪問活動	
(9) ファミリー・サポート・センター事業	
(10) 子育て支援講座	
(11) 「災害時要援護者福祉マップ」	
(12) ふれあい相談センターによる専門相談	
(13) 障がい児（者）活動援助事業の増進	
(14) 地域イベント等への機材の貸出し	
<b>2. 在宅福祉サービス事業の推進 .....</b>	<b>12</b>
(1) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の受託運営	
(2) 生活支援配食サービス事業	
(3) 車いすの貸し出し	
(4) 市民福祉講座の開催	
<b>3. 低所得者世帯等に対する支援事業 .....</b>	<b>15</b>
(1) 助け合い金庫貸付事業	
(2) 生活福祉資金貸付事業	
(3) 困窮者支援事業（緊急時の物資支給）	
<b>4. ボランティア事業の推進 .....</b>	<b>16</b>
(1) 広報・啓発活動	
(2) 相談・登録・あっ旋事業	
(3) ボランティアグループ、NPO等関係機関・団体等との連携	
(4) 災害ボランティア活動支援体制の整備	
(5) ボランティア保険の加入促進	
(6) 小・中学生の体験講座の推進	
(7) 災害ボランティア体験講座開催	
<b>5. 広報・啓発活動の推進 .....</b>	<b>20</b>
(1) 社協だより「かけはし」発行	
(2) 社会福祉大会開催	
(3) ふくしフェスティバル開催	
(4) ホームページ等による積極的な情報提供	
<b>6. 社会福祉関係団体との連携支援 .....</b>	<b>23</b>
(1) 共同募金運動並びに歳末たすけあい運動の実施協力	
(2) 共同募金運動助成事業並びに歳末見舞金給付事業	
(3) 民生員児童委員活動への協力	
(4) 社会福祉関係団体等の活動支援	

<b>7. 介護サービス事業の充実</b> .....	<b>26</b>
(1) 介護保険事業	
(2) 受託運営事業	
(3) 障害者自立支援事業	
(4) 職員研修の充実	
(5) 利用者保護及び事業の透明性確保のための苦情解決事業	
<b>8. 経営体制の強化</b> .....	<b>34</b>
(1) 経営基盤の充実	
(2) 財政基盤の強化	
<b>9. 会員制度への理解推進</b> .....	<b>39</b>
(1) 地区コミュニティを単位とした周知の機会を確立	
(2) 広報誌やホームページを活用した周知の徹底	
(3) 会員加入状況	
<b>10. 保育所開設準備</b> .....	<b>40</b>
(1) 保護者・地域住民への理解促進	
(2) 三者協議会の設置	
(3) 職員採用	
(4) 保育所開設に向けた理事・評議員会への承認・報告	
(5) 研修等	
<b>11. 指定管理者制度における施設管理経営</b> .....	<b>43</b>
(1) 保健福祉センターの管理	
(2) 健康づくりふれあいセンター（あやうた温泉 湯舟道）の経営	
<b>12. 収益事業の充実</b> .....	<b>47</b>
(1) 福祉売店の効率的経営	

# 平成 23 年度事業報告

## 総括

地域における人と人のつながりが希薄化し、孤独死が大きな社会問題となり、今まで築かれてきた地縁関係が崩壊し、無縁社会の広がりが顕著になっています。

こうしたなか、3月11日に発災した東日本大震災では、被災地の復興を願い、多くのボランティアなどによる支援の輪が全国的に広がりを見せる一方、被災された方々が共に助け合う姿が報道されるなど、地区コミュニティでの絆の大切を改めて見直す機会となりました。

本会では、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念とした地域福祉活動計画推進の2年目にあたり、役職員一丸となり、目標を具現化するなかで、重点事業としては、市内初の公立保育所民営化園である「しおや保育所」の開設準備、民生委員児童委員・福祉協力員を中心とした小地域での見守りネットワーク活動の充実強化、介護事業を安定的に経営するための中期3ヵ年計画の策定等、積極的に事業展開を実施した年度でした。

## 重点事業の取り組み

### 保育所開設準備

平成23年1月、「保育所開設準備室」を立ち上げ、平成24年4月1日「しおや保育所」開設に向けての準備を推進してまいりました。

平成23年9月、丸亀市保育所条例改正が議決され、保育所業務移管計画が確定し、移管業務を円滑に遂行するため、行政と「保育所業務移管に関する協定書」を締結しました。

具体的には、保護者・地域住民への説明会参加、三者協議会の設置、事業計画策定、職員採用、各種認可規程等、移管業務に取り組み、計画どおり所期の目標を達成しました。

### 小地域見守りネットワーク活動の充実

従来の福祉推進委員の名称を福祉協力員に変更し、職員が各コミュニティの研修会に積極的に出向き、活動内容の説明を行いました。また、福祉協力員による各地区における福祉ニーズの把握・解決を目的とした小地域見守りネットワーク活動・携帯電話のメール機能を活用した福祉情報配信事業、もしものための救急医療情報キット配布事業、市内を巡回する企業連携型見守り活動事業の4事業の充実強化に取り組み、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」計画の推進に努めました。

### ファミリー・サポート・センター事業の充実

本年度は、300名の会員登録を目標に掲げ、「おねがい会員」募集としては保育所・幼稚園の保護者会・子育て支援関係者会等、積極的に参加し説明会を重ねる一方、「まかせて会員」募集では定期的に養成講座・情報交換会を開催し会員の増強に努め、「おねがい会員」168名・「まかせて会員」108名・「両方会員」9名、計285名のほぼ目標に近い会員を確保することができました。

### **生活福祉資金貸し付け相談体制の充実**

景気低迷による失業や減収などを要因とした生活困窮世帯が増加しているなか、セーフティネットとしての役割をさらに強化するため、本年度より担当職員1名と専門相談員を1名から2名に増員し、相談体制の充実を図りました。本年度の申請件数は前年度に比べやや減少となりましたが、総合支援資金・緊急小口資金の同一案件に関する相談件数は増加し、相談内容も煩雑するなか経済的自立支援・指導に努めました。

### **介護事業の安定経営**

介護事業では中期3ヵ年計画を策定し、事業所基礎体制の強化、利用者サービスの質の向上、安定収益の確保に取り組みました。しかしながら、通所介護事業では、近隣地区での民間事業所の台頭により、利用者数が大きく減少する結果となり、厳しい運営状況となりました。一方、居宅介護支援事業では、特定事業所加算を取得したことにより、大幅な収益増に結び付けることができました。今後は、中期3ヵ年計画を見直し、各事業ごとに具体的な取り組みを実践し、地域福祉課との連携を強化しながら、経営の安定化に努めます。

# 1. 地域づくりの推進

## (1) 福祉協力員による小地域ネットワーク活動

7月に福祉推進委員から、住民に親しみやすい福祉協力員(1,024名)に名称も変更され、研修会を通じて地域における具体的な活動事例を紹介しました。また、福祉協力員との小地域ネット会議に積極的に参加し、ニーズ把握・問題解決に向け連携を密にしました。

また、地域に潜在している福祉ニーズを把握することを目的として、民生委員児童委員及び福祉ママ等の協働で、市内在住の一人暮らし高齢者の実態調査を実施しました。

### 小地域ネットワーク会議の開催

地域の開催状況に合わせ積極的に参加しました。(開催回数 30回)

地区名	城北	城西	城乾	城坤	城南	郡家	岡田	栗熊	富熊
回数	2	3	6	9	1	1	4	2	2

### 福祉協力員の研修会開催

小地域見守り活動の必要性を積極的に提言されている木原孝久氏を講師として招き、地域での声かけ・結びつき等活動事例を挙げての全体研修会を開催しました。

年月日	内容	参加人数	場所
24. 1.29	見守りネット講演会	376名	丸亀市綾歌総合文化会館アイレックス

## (2) 福祉情報メール配信事業(情報 ほっとメール) (登録者数 295名)

携帯電話のメール機能を活用し、消費者被害等の情報を登録会員に提供することにより、会員担当地域の高齢者等の生活弱者へ情報を提供し、被害軽減に努めました。数多くの情報をタイムリーに提供する必要性から、丸亀警察署生活安全課へも情報の提供を依頼しました。

## (3) 救急医療情報キット(安心キット)配布事業(登録者数 3,384名)

もしものために、救急医療情報キットの設置を民生委員児童委員中心に、各コミュニティの協力を得て住民に周知するとともに、社協情報誌「かけはし」を活用し、設置の拡充に努めました。

## (4) 企業連携型見守り活動事業

昨年度は四国新聞社と連携し、本年度は、読売新聞社・四国電力丸亀営業所・朝日新聞社の3社と協定書を取り交わし、民生委員児童委員との連携による見守り体制の充実強化に努めました。

年月日	協定事業者	場 所
23. 8. 5	読売センター丸亀東 読売センター飯山 丸亀市民生委員児童委員協議会連合会	ひまわりセンター
11.25	四国電力株式会社丸亀営業所 丸亀市民生委員児童委員協議会連合会	市役所
12.16	朝日新聞サービスアンカー丸亀 丸亀市民生委員児童委員協議会連合会	市役所

### (5) 高齢者等を対象とした小地域での「ふれあい・いきいきサロン」

閉じこもりがちな高齢者や障がい者及び子育て中の親子を対象に、外出機会を作ることによって日常生活にメリハリを持たせ、人と人とのふれあい、支え合う場づくりの推進を図りました。

#### 「ふれあい・いきいきサロン」交流・研修会の開催

年月日	内 容	参加人数	場 所
23. 4. 7	「楽しみながら介護予防」 健康運動指導士 吉田 美由紀 氏	77名	ひまわりセンター
10. 5	「ヤクルト ウン知育教室」 香川ヤクルト販売(株) 管理栄養士 長尾 志津代 氏	80名	飯山総合保健福祉センター

#### 「ふれあい・いきいきサロン」活動状況

地 区	22年度	23年度
丸 亀	36ヶ所	46ヶ所
綾 歌	34ヶ所	32ヶ所
飯 山	19ヶ所	19ヶ所
計	89ヶ所	97ヶ所

#### 「ふれあい・いきいきサロン」への貸出器具利用状況

機 材	件 数	機 材	件 数
輪投げ	27	カラオケ	9
ダーツ	22	新十扇	1
ゴルフ	16	ビンゴ	2
凡リング	4	日本トランプ	1
かるた	6	漢字博士(入門偏)	1

## 《概説》

現在、97ヶ所あるサロンを一層充実するため、年2回の研修会を実施しました。サロン開設時には職員が開催地区へ出向き、運営・活動上の問題点を把握し、活動のしやすい環境づくりに努めました。また、広報誌を活用してサロン活動等の照会を行い、新規サロンの立ち上げ拡充に努めました。

## (6) 高齢者地域支え合い活動拠点整備事業

「ふれあい・いきいきサロン」活動を展開している地域の自治会館等に、DVDプレーヤーと地上デジタルテレビを設置し、日頃のサロン活動において、テレビの健康番組や介護予防体操DVD等を視聴できる環境を整え、継続的に介護予防への取組みや高齢者が交流できる環境を整備しました。

### DVDプレーヤー及び地上デジタルテレビの購入・設置事業 2,150,000円

設置内容	設置箇所数	場 所
DVDプレーヤー及び地上デジタルテレビ	25ヶ所	丸亀 18ヶ所 綾歌 6ヶ所 飯山 10ヶ所
DVDプレーヤー	7ヶ所	
地上デジタルテレビ	2ヶ所	
合 計	34ヶ所	

## (7) 地区社協（地区コミュニティ福祉部会）との連携による住民参加活動

地域福祉活動を推進していくために必要な活動費を助成するとともに、職員が積極的に地区行事に参加し、地域との連携強化を図り、住民の福祉活動への喚起を促しました。また、防災に備えて資機材の拡充を図るため、引続き購入助成を行いました。

### 地区社協運営助成状況

助成金内容	22年度(円)	23年度(円)
地域福祉推進事業助成金	1,424,200	1,420,320
共同募金配分金助成金	2,470,000	2,382,000
防災資機材助成金	1,190,000	850,000
合 計	5,084,200	4,652,320

## (8) 一人暮らし高齢者友愛訪問活動

民生委員児童委員・福祉ママ・福祉協力員の協力を得て、地域ごとに普段の生活のなかでの見守り活動を展開しました。また、年2回、7月・2月に友愛訪問を兼ねての一人暮らし高齢者・寝たきり高齢者の訪問調査を実施しました。

また、災害時の情報の共有化を図り、より迅速な安否確認や避難が行えるよう、本人同意による情報開示の承諾をお願いしました。

### 一人暮らし高齢者実態調査（65才以上）

【平成23年7月・平成24年2月：2回調査】 調査員：民生委員児童委員（単位：名）

	男	女	計		男	女	計		男	女	計
城北	110	361	471	郡家	36	133	169	広島	17	48	65
城西	63	241	304	垂水	16	39	55	本島	14	65	79
城乾	61	188	249	川西	37	87	124	綾歌	72	180	252
城坤	95	351	446	飯野	16	47	63	飯山	99	233	332
城南	62	187	249	土器	59	236	295	合計	757	2,396	3,153
								22年度	728	2,297	3,025

### 一人暮らし高齢者友愛訪問花鉢プレゼント事業

市内70歳以上の一人暮らし高齢者の誕生月に、民生委員児童委員が安否確認を兼ねて訪問し、季節の花をプレゼントし、信頼関係を更に密にしました。（対象者数2,465名）

月	花名	対象者数	月	花名	対象者数
4月	ランタンキュラス	155名	10月	マリーゴールド	205名
5月	カーネーション	160名	11月	ベゴニア	204名
6月	ゼラニウム	128名	12月	パンジーアリッサム	148名
7月	トウガラシ	178名	1月	パンジー	307名
8月	エキザカム	192名	2月	プリムラ	278名
9月	ベゴニアクイーン	193名	3月	プリムラ	317名

### ねたきり高齢者実態調査（60才以上）

【平成23年6月・平成24年1月：2回調査】 調査員：福祉ママ（単位：名）

	男	女	計		男	女	計		男	女	計
城北	1	13	14	郡家	4	6	10	広島	1	1	2
城西	0	2	2	垂水	0	1	1	本島	1	0	1
城乾	10	12	22	川西	4	4	8	綾歌	7	12	19
城坤	7	13	20	飯野	0	2	2	飯山	10	16	26
城南	4	5	9	土器	1	2	3	合計	50	89	139
								22年度	59	117	176

### ねたきり高齢者友愛訪問実施状況

福祉ママがチャリティーバーザー収益から、大判バスタオルを調査対象者に、プレゼントし、家族の方へも感謝の気持ちを伝えました。

年月	内容	対象者数
23. 7月	60歳以上在宅ねたきり高齢者友愛訪問（上期）	166名
24. 2月	60歳以上在宅ねたきり高齢者友愛訪問（下期）	139名

### 《概説》

高齢者ならびに家族とのコミュニケーションが図られ、潜在的ニーズの掘り起こしに繋がりました。

## (9) ファミリー・サポート・センター事業

「お願い会員」の増員を図るため、保育所・幼稚園・子育て支援の会へ積極的に参加し、啓発チラシの配布・説明会を重ねる一方、養成講座・情報交換会等を開催し「まかせて会員」の拡充にも努めました。

### 会員の募集、登録等に関する業務

項目	22年度登録者数	23年度登録者数
まかせて会員（提供）	73名	108名
おねがい会員（依頼）	67名	168名
両方会員	6名	9名
合計	146名	285名

### マッチング活動実績状況

項目	22年度	23年度
学校の放課後の預かり	0件	3件
保育所・幼稚園の登園前の預かり	1件	0件
保育所・幼稚園の送り	85件	164件
保育所・幼稚園の迎え	26件	157件
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	2件	46件
青い鳥教室（放課後留守家庭児童会）前の預かり	3件	0件
青い鳥教室（放課後留守家庭児童会）の送り	3件	0件
青い鳥教室（放課後留守家庭児童会）の迎え	0件	208件
小学校の迎え	0件	15件
保護者等の外出の場合の援助	28件	20件
保護者等の病気、その他の急用の場合の援助	3件	0件
保護者等の冠婚葬祭・他の子供の学校行事の場合の援助	0件	1件
保護者等の短時間・臨時的就職場合の援助	0件	13件
合計	151件	627件

### 講習会の開催

年月日	内 容	参加人数	場 所
23. 5.24 25	まかせて会員養成講座	17名	ひまわりセンター
8.24 25	まかせて会員養成講座	26名	飯山総合保健福祉センター
10.21	スキルアップ研修(料理)	16名	ひまわりセンター
11.12 13	まかせて会員養成講座	9名	ひまわりセンター
24. 2.17	スキルアップ研修(救急法)	17名	ひまわりセンター

### 会員交流会の開催

年月日	内 容	参加人数	場 所
23.12.10	クリスマス会	41名	ひまわりセンター
24. 1.19	まかせて会員事例検討会	7名	飯山総合保健福祉センター

### 関係機関との連絡調整

市子育て支援課・放課後留守家庭児童会・小学校・幼稚園・保育所・子育て支援センター等の関係機関と連携し、事業の啓発活動に取り組みました。

### センター事業に関する広報業務

社協だより「かけはし」・市広報誌・コミュニティ誌・子育て情報誌等へ記事を掲載、ホームページ上に専用のページを設け、情報を提供することにより、新規会員の増強に取り組みました。

### 《概説》

小学校・幼稚園・保育所等の関係機関に幅広くチラシを配布することにより、おねがい会員（依頼会員）の登録が今年に入り増加しはじめました。また、マッチング（事前打合せ）件数も徐々に増加し、会員同士の交流も始まり、少しずつ地域の子育ての輪が広がりをみせています。

今後は、各関係機関（小地域・保育所・幼稚園、企業）等へ出向き、相談会を定期的開催し、子育て家庭へのさらなる周知を行い、会員増を図るとともに、会員同士の交流会を定期的開催し、子育て家庭のニーズに沿った事業展開を進めていきます。

## (10) 子育て支援講座

### 子育て中の親子が集まる場づくり

子育て中の親子を対象に、子どもたちと一緒に楽しめるプログラムを企画し、日頃ゆっくりと子どもと過ごす機会が少ない方の参加を促し、育児中のリフレッシュや子育て中の親同士の交流の場作りを目的に開催しました。

### 「おやこカフェ」の開催

年月日	内 容	参加人数	場 所
23. 6. 3	第1回「おいしい いちご大福をつくろう」 講師 レクリエーションインストラクター 岩田理香 氏	18組39名	ひまわりセンター
8. 7	第2回「おしぼり人形をつくろう」 講師 レクリエーションインストラクター 岩田理香 氏	16組39名	同 上
24. 2.27	第3回「ひな人形をつくろう」 講師 レクリエーションインストラクター 岩田理香 氏	13組31名	同 上

### パパ・ママのための防災講座

どうすればちいさな命を守ることができるのか、心配と不安を抱えるパパ・ママたちを対象に、阪神大震災の被災体験とアウトドアの知識を生かした知恵・技、すぐに使える防災知識等をテーマとした防災講座を開催しました。

年月日	内 容	参加人数	場 所
23.11. 6	「ちいさな命を守る パパ・ママのための防災講座」 講師 アウトドア流防災ファシリテーター あんどうりす氏	57名	ひまわりセンター

### すくすく子育て講演会

子育てに関わるだけではなく、意識して自分が変わることによって、相手への接し方も変わるやさしい子育て方法を内容とした講座を開催しました。

年月日	内 容	参加人数	場 所
23.10.23	第1回目 「意識で変えよう脳回路」 ～今の自分を違う角度から見て行きましょう～ 精神対話士 植山祐子 氏	25名	ひまわりセンター
11.20	第2回目 「意識で変えよう脳回路」 ～自分との関係を見つめてみましょう～ 精神対話士 植山祐子 氏	13名	ひまわりセンター
12.18	第3回目 「意識で変えよう脳回路」 ～自分らしい言動・行動～ 精神対話士 植山祐子 氏	14名	ひまわりセンター

**(11)「災害時要援護者福祉マップ」**

3月11日発生 of 東日本大震災を教訓に、災害時における要援護者の安否確認が迅速に行えるよう、民生委員児童委員等との協働で、調査を年2回（7月・2月）実施し、要援護者台帳を更新しました。

また、本人同意による個人情報開示の承諾により、情報の共有化が図られ、より一層の強化した見守り支援活動が行えるようになりました。

【平成23年7月・平成24年2月：2回調査】

（単位：名）

地 区	一人暮らし	高齢者世帯	障がい者世帯	計
城 北	407	74	21	502
城 西	264	22	8	294
城 乾	210	38	22	270
城 坤	349	14	20	383
城 南	205	12	9	226
郡 家	160	11	26	197
垂 水	45	1	3	49
川 西	95	6	12	113
飯 野	53	12	1	66
土 器	272	19	5	296
広 島	45	11	1	57
本 島	73	42	2	117
綾 歌	226	61	18	305
飯 山	255	20	16	291
合 計	2,659	343	164	3,166
22年度	2,710	335	143	3,188

**(12) ふれあい相談センターによる専門相談**

住民だれもが気軽に相談できる専門相談窓口として、相談体制の充実に努めました。

**相談員の構成**

本 所	綾歌分室	飯山分室
弁護士・司法書士	弁護士	弁護士

**相談開設状況**

**(ア)心配ごと相談**

場 所	開催時間	場 所	開催時間	場 所	開催時間
本 所	随 時	綾歌分室	随 時	飯山分室	随 時

(イ) 専門相談

a 弁護士相談 (開設日数36日)

開催場所	開催曜日	開催時間	相談件数	
			22年度	23年度
本所	第2火曜日	午前9時～12時	67件	64件
綾歌分室	第3水曜日	午前9時～12時	40件	38件
飯山分室	第2木曜日	午前9時～12時	56件	54件
		計	163件	156件

b 司法書士相談 (開設日数10日)

開催場所	開催曜日	開催時間	相談件数	
			22年度	22年度
本所	第4火曜日	午前9時～12時	26件	39件

《概説》

弁護士・司法書士の専門相談窓口として、地域住民が抱える煩雑な問題の解決に努めました。

(13) 障がい児(者)活動援助事業の増進

障がい者スポーツ大会に積極的に参加し、参加施設・団体と親睦を深めました。また、丸亀市身体障害者福祉連合協会を始め障がい者団体との連携強化し、障害児と保護者を対象とした、「ふれあい・いきいき・サロン」が市内に3ヶ所立ち上がり、高齢者サロンと同様の活動支援を行いました。

(14) 地域イベント等への機材の貸出し

市内の団体等が行う地域振興を目的としたイベントに機材の貸し出しを行いました。

【1回5日間限度】貸し出し延べ件数109件

機材名(1回につき2,000円)	件数	機材名(1回につき1,000円)	件数
お好み焼き鉄板	8件	綿菓子機	24件
フライヤー	12件	ポップコーン機	18件
		かき氷機(電動・手動)	35件
		やきいも機	5件
		たこ焼き機	7件
(利用料収入合計)40,000円	20件	(利用料収入合計)89,000円	89件
22年度 36,000円	18件	22年度 81,000円	81件

## 2. 在宅福祉サービス事業の推進

### (1) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の受託運営

判断能力に不安があるために、適切な福祉サービスを受けることができない方が、地域で自立した生活を送れるように、専門員と生活支援員を配置し、本会が法律に基づき、福祉サービスの利用手続きの援助や、利用料の支払代行などを行いました。また、関係機関と連携し利用者の把握に努めるとともに、諸会議等にも参加し、事業の推進に努めました。

#### 専門員研修会

利用者との係わりの深い専門員のスキルアップのため、せいかつあんしんセンターが開催する研修会、事例検討会等に積極的に参加しました。

#### 生活支援員研修会

専門員と協力して利用者支援を行うため、担当職員・生活支援員は生活支援員集合研修会等積極的に参加し、情報交換・連携強化に努めました。

#### 精神保健福祉連絡会（かめたの会）

当事者・近隣の精神保健福祉に関連のある行政・病院・施設及び団体等が会し、精神保健福祉向上のための情報収集・意見交換、また、研修会等に参加し、関係機関・施設・団体等との連携強化に努めました。

#### 福祉サービス利用援助事業利用状況（各月末時利用者数）

月	人数	月	人数	月	人数	月	人数
4月	37名	7月	35名	10月	36名	1月	40名
5月	36名	8月	36名	11月	39名	2月	40名
6月	36名	9月	36名	12月	40名	3月	40名
						22年度	39名

#### 相談・問い合わせ件数

件数	対象者	相談経路	相談内容
942件	認知症高齢者等 411件 知的障害者等 128件 精神障害者等 384件 その他、不明 19件	本人 629件 家族、親類 25件 知人 2件 民生児童委員 11件 行政（包括、生保等） 30件 保健、医療、福祉機関 222件 その他 23件	福祉サービスの手続き等 日常的金銭管理等 書類等の預かり 保健サービスの手続き 医療に関する事項 福祉サービスに関する苦情 今後の生活設計等 本事業に関する問い合わせ 成年後見制度に関する問い合わせ その他
1,044件	22年度合計件数		

## 《概説》

専門員が利用者のニーズに即した支援計画を立て、生活支援員が計画に基づき訪問することにより、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制作りに努めた。

## (2) 生活支援配食サービス事業

調理を困難とする要介護1以上の70歳以上の一人暮らし高齢者非課税世帯を対象に、週5回までを限度とした昼食を配達する生活支援配食サービス事業の拡充を積極的に図りました。

### 利用状況と配食数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
22年度	人数	14	12	11	14	12	11	14	16	17	15	14	14	164
	食数	197	188	169	204	186	164	204	231	231	195	188	199	2,356
23年度	人数	13	13	16	16	14	17	16	17	16	15	17	22	192
	食数	185	208	232	236	217	225	249	241	230	199	203	310	2,735

## 《概説》

民生委員児童委員の一人暮らし高齢者の実態調査時に、配食サービスのチラシを配布したことにより、利用者が増加しました。食事の内容については、高齢者の好みや食材及び栄養バランス等を考慮したものとし、配食サービスを利用することで、健康に留意した生活が送れるよう努めました。

## (3) 車いすの貸し出し

介護保険受給者以外の方に車椅子を貸し出すことにより、通院等の移動がしやすく、介助負担の軽減等となり、本年度は利用者も増え、在宅福祉の推進につながりました。

### 貸出状況

区分	22年度		23年度	
	実利用者	貸出延件数	実利用者	貸出延件数
本所	120名	505件	140名	561件
綾歌分室	8名	25件	13名	34件
飯山分室	24名	72件	45名	120件
合計	152名	602件	198名	715件

#### (4) 市民福祉講座の開催

認知症等で判断能力が不十分な方や、判断能力が落ちた時、財産管理や様々な契約を結ぶ際に、どうしたらいいのかわからないという不安を抱えた方を保護し、支援する制度「成年後見制度」についての市民福祉講座を開催しました。

年月日	内 容	参加人数	場 所
23. 9. 3	あなたは誰に頼りますか？ 「いつか役立つ成年後見制度」 司法書士 大塚 昭男 氏 (成年後見センター・リーガルサポートかがわ)	190名	ひまわりセンター

#### 《概説》

台風の影響で開催日程を変更したにもかかわらず、大勢の方の参加をいただき、関心の高さを再認識しました。今後ますます進む高齢化社会に向け、タイムリーでかつニーズの高い情報提供に努めます。

### 3. 低所得者世帯等に対する支援事業

#### (1) 助け合い金庫貸付事業

公の制度等の対象とならない世帯に対し、本会が独自に貸付を行い、自立更生に向けた支援・指導を行いました。

区 分	22年度		23年度	
	件 数	金額(円)	件 数	金額(円)
助 け 合 い 資 金	19 件	520,000	23 件	640,000

#### (2) 生活福祉資金貸付事業

市内の低所得者・高齢者・障がい者世帯を対象に、必要な資金の貸し付けと相談支援を行うことにより、経済的自立と生活意欲を高め、民生委員児童委員と連携し、貸し付け世帯の自立更生に努めました。

(相談405件)

区 分	22年度		23年度	
	件 数	金額(円)	件 数	金額(円)
総 合 支 援 資 金	50 件	21,953,041	27 件	13,393,865
教 育 支 援 資 金	9 件	11,188,000	2 件	4,480,000
福 祉 資 金	9 件	8,652,500	7 件	4,714,800
緊 急 小 口 資 金	77 件	5,326,000	75 件	5,497,000
不動産担保型生活資金	0 件	0	0 件	0
臨時特例つなぎ資金	0 件	0	0 件	0
合 計	145 件	47,119,541	111 件	28,085,665

#### (3) 困窮者支援事業(緊急時の物資支給)

制度の狭間で困窮する対象者に対し、食料物資を支給することにより、公的給付までの生活の維持に寄与しました。

区 分	22年度	23年度
緊急援助物資の支給	28 件	31 件

## 4. ボランティア事業の推進

### (1) 広報・啓発活動

社協だより「かけはし」を活用し、ボランティアセンターの役割、活動内容、市民に身近な講座への参加を呼びかけ、ボランティア活動の普及啓発に努めました。

### (2) 相談・登録・あつ旋事業

丸亀ボランティア協議会に委託し、専任のボランティアコーディネーターが相談・登録・あつ旋を中心にニーズ調整を行い、ボランティア活動の推進を図りました。

#### 相談開設状況

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（祝日を除く）

#### 相談及びあつ旋状況

区分	項目	相談件数		あつ旋件数		内容
		22年度	23年度	22年度	23年度	
ニーズ相談	個人	73	61	62	51	病院送迎・在宅高齢者へのお話し相手ボランティア・介護ボランティア・講師派遣等
	団体	104	100	101	98	
ボランティア相談	個人	91	101	87	95	手話を習いたい・ボランティア活動内容が知りたい等
	団体	13	7	13	7	

#### 個人ボランティア登録状況

区分	人数
22年度	男 19名
	女 35名
23年度	男 16名
	女 30名

#### 活動あつ旋状況

区分	件数	内容
ボランティア活動数	1,990	運転ボランティア 福祉の店・秋寅の館の当番 事務ボランティア 秋寅の館ミニデイサービス 託児ボランティア等

#### 《概説》

専任のボランティアコーディネーターが、ボランティア希望者・要望者より十分な聞き取りを行い、スムーズな調整を行い支援充実に努めました。

### (3) ボランティアグループ、NPO等関係機関・団体等との連携

お城まつり愛の広場・ふくしフェスティバル等の事業を通じ、ボランティア・NPO・関係機関・団体等の活動啓発を推進した。

## (4) 災害ボランティア活動支援体制の整備

### 防災講演会開催

10月28日サンビレッジ土器川を会場に、市民を対象とした防災講演会を開催しました。宮城県石巻市社会福祉協議会より、災害ボランティアセンターで中心的な役割を果たした課長補佐阿部由紀氏を講師に迎え、災害への備え・対応等の被災者にしか語れない貴重な体験講演により、災害対応への喚起を行いました。

年月日	内 容	参加人数	場 所
23.10.28	「復興への道」 ～ここをつなぐボランティア～	400名	サンビレッジ土器川

### 災害ボランティアセンター設置準備

災害発生時に市と本会が協力し、被災者・被災地支援のために活動するボランティアの活動を効果的・効率的な運用を行うため、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを策定し、職員の役割等を明確化しました。

### 活動機材整備（レスキューショルダー：8セット）

本年度は、共同募金の助成を受け、災害時支援救助工具等の整備にも努めました。

### 石巻市災害ボランティアセンターへの協力

3月11日発災の東日本大震災では、全国福祉協議会が中心となり、地区ブロックごとに被災県の支援にあたりました。中国・四国ブロックは宮城県を担当し、そのなかで香川県は石巻市の支援にあたりました。本会では、4月11日より2名体制で計8名が劣悪の環境のなか、石巻市災害ボランティア内でニーズの聞き取り、ボランティアとのマッチングにあたりました。

## (5) ボランティア保険の加入促進

安心してボランティア活動ができるよう、ボランティア活動保険や、行事用保険などの加入を促進しました。

### ボランティア保険加入状況

区 分	人 数		団体数	
	22年度	23年度	22年度	23年度
団 体	1,155名	1,250名	46団体	54団体
(内、災害ボランティア)		195名		8団体
個 人	2名	25名		
(内、災害ボランティア)		10名		
行 事	1,151名	1,558名	14団体	23団体
計	2,308名	3,038名	60団体	85団体

## 《概説》

3月11日の東日本大震災以降、老若男女を問わず被災地支援の輪が広がりを見せ、ゴールデンウィーク・夏休み等を利用しての災害支援ボランティアの加入が多く見られました。

## (6) 小・中学生の体験講座の推進

### こどもふくしセミナー開催

川西地区自主防災会(会長 岩崎正朔氏)を講師として、小学生を対象に、もしもの災害時に子どもたちが自分にできる被災復旧活動を体験することによって、共に支え合い、助け合うことの大切さを学び、地域福祉活動やボランティア活動の必要性について考えるセミナーを開催しました。

年月日	内 容	参加延人数	場 所
23. 7.30	<b>【こどもふくしセミナー】</b> ケガをしてしまった人を助けよう！ ・心肺蘇生訓練～AEDの正しい使い方～ ・移動介助～かんたんに担架を作る方法～ 避難所の設置を手伝おう！ ・テント張り～力を合わせてがんばろう～ 集団生活を体験しよう！ ・飯盒炊爨～みんなのカレーライス作り～ ・昼食～避難クイズに挑戦しよう～ 初期消火に挑戦してみよう！ ・消火器の使い方～水消火器で実践～ 大雨が降ったときに家を守ろう！ ・土のう作り～正しい積み方～ 一番安全なところへ逃げよう！ ・ロープのぼり～安全第1～	親子13組 38名	綾歌森林公園 畦田キャンプ場

### 中学生ワークキャンプ開催

市内の中学生を対象に、施設での体験を通じて社会福祉への理解と関心を高めるために、夏休みにワークキャンプを開催しました。

年月日	内 容	参加人数	場 所
23. 8. 4	高齢者施設でゆったりと昔話に花を咲かせよう (デイサービス体験)	2名	綾歌健康づくりふれあいセンター
8. 5	障がい者施設の夏祭りをみんなと一緒に盛り上げよう！ (イベント体験)	4名	通所授産施設うぶすな園

## (7) 災害ボランティア体験講座開催

子供たちを対象に、震災時に役立つ「技」や「知識」を身につけるために、防災プログラム「イザ！カエルキャラバン！」を体験・ゲーム感覚で楽しみながら、自分ができることは何かを知り、子どもたちの防災意識の高揚に努めました。

年月日	内 容	参加人数	場 所
23. 8. 6	【災害体験ボランティア講座】 イザ！カエルキャラバン in まるがめ 事前ワークショップ 講師 NPO法人プラス・アーツ	スタッフ 24名	ひまわりセンター
9.23	【災害体験ボランティア講座】 いざ！カエルキャラバン in まるがめ (ふくしフェスティバルinまるがめ内の プログラムとして開催) 講師 NPO法人プラス・アーツ 協力 丸亀市川西地区自主防災会	スタッフ 31名  当日参加者 約500名	綾歌総合文化会館 アイレックス



模型による家具転倒防止体験



水消火器による的あてゲーム

## 5 . 広報・啓発活動の推進

### ( 1 ) 社協だより「かけはし」発行

地域福祉活動を掲載した広報誌を全戸配布することにより、社会福祉に対する情報を定期的に提供し市民への広報活動に努めました。

号 数	発刊年月日	発刊部数	主 な 内 容
19号	23. 5. 1	45,300	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で子育てを応援しましょう！</li> <li>・ みんな集まれー！おやこカフェ</li> <li>・ ゆったりルームで子どもバンザイ！</li> <li>・ 地元で元気にいきいきと</li> <li>・ 飯山デイサービスだより Part 1</li> <li>・ あやうた温泉においでまい</li> <li>・ がんばれ東北 がんばろう日本</li> <li>・ 地域のみなさまに支えられています</li> <li>・ 善意の窓</li> <li>・ 無料専門相談</li> <li>・ 平成23年度事業計画／総合予算</li> <li>・ ご近所同士が支え合う仕組みづくり</li> </ul>
20号	7. 1	45,300	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもふくしセミナー</li> <li>・ ふれあいワークキャンプ</li> <li>・ 「まかせて会員」養成講座</li> <li>・ 「おねがい会員」登録相談会</li> <li>・ みんな集まれー！おやこカフェ</li> <li>・ 飯山デイサービスだより Part 2</li> <li>・ サマーコンサートのご案内</li> <li>・ ひまわりセンターをご利用ください</li> <li>・ 体験グッズ／イベント機材の貸出</li> <li>・ 被災地復興支援</li> <li>・ 私のまちの福祉情報</li> <li>・ じぶんの町を良くする活動に</li> <li>・ 善意の窓</li> <li>・ 無料専門相談</li> <li>・ 新役員と評議員が選任</li> <li>・ 平成22年度事業報告／決算報告</li> <li>・ ふくしフェスティバル開催予告</li> <li>・ 冷蔵庫に備えましたか？</li> <li>・ あなたは誰に頼りますか？</li> </ul>

21号	23.10. 1	45,300	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温かい支援の輪がひろがっています</li> <li>・ ちいさな命と地球を守る</li> <li>・ 自分に優しい時間を過ごす</li> <li>・ 私のまちの福祉情報</li> <li>・ こんにちは ふれあいいいききサロン その</li> <li>・ 地域で安心 みんなで見守る</li> <li>・ 福祉協力員さん誕生</li> <li>・ あなたは誰に頼りますか？</li> <li>・ 障がいのある方が暮らしやすい社会の実現</li> <li>・ 飯山デイサービスだより Part 3</li> <li>・ ご利用ください 飯山総合保健福祉センター</li> <li>・ じぶんの町を良くするしくみ。</li> <li>・ 東日本大震災 被災地で感じたそれぞれのおもい...</li> <li>・ 善意の窓</li> <li>・ 無料専門相談</li> <li>・ 平成23年度団体会員</li> <li>・ 第7回丸亀市社会福祉大会</li> </ul>
23号	24. 2. 1	45,300	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しおや保育所」を開所します</li> <li>・ 子育てを応援します</li> <li>・ みんな集まれー！おやかカフェ</li> <li>・ みんなで楽しく布遊具を作りませんか</li> <li>・ 綾歌保健福祉センターをご利用ください</li> <li>・ 私のまちの福祉情報</li> <li>・ 企業に広がる見守りの輪</li> <li>・ みんな元気にいきいきライフ</li> <li>・ こんにちは ふれあいいいききサロン</li> <li>・ はんざんデイサービスだより Part 4</li> <li>・ みなさまの善意を福祉のために</li> <li>・ 平成23年度共同募金寄付者のご芳名</li> <li>・ 善意の窓</li> <li>・ 平成23年度団体会員</li> <li>・ これはあんしん！</li> <li>・ 高齢者へお弁当をお届け</li> <li>・ 無料専門相談</li> </ul>

#### 《概説》

本年度より、発行回数を年3回から4回に増やし、編集委員を各課より選出し、より見やすくわかり易い身近な福祉情報として位置付けました。また、全世帯へ配布することにより、福祉講座・講演会等の参加者の増員に繋がりました。

## (2) 社会福祉大会開催

10月24日(月) 市民会館大ホールに福祉関係者が一堂に会し、一部では、生まれ育った地域で安心して生活が送れる地域福祉の充実を目指す決意を新たにするとともに、多年にわたり、社会福祉の発展に貢献された方々の顕彰を行いました。

二部の記念講演は、花まる学習会代表の高濱正伸先生による、「子どもの生きる力を育む」と題し、子どもが生きていくための子育てについて講演を行い、会場は熱心に聴き入る人で満席となりました。

表彰・感謝	人数・団体数
丸亀市社会福祉協議会会長表彰	45名
丸亀市社会福祉協議会会長感謝	4名・7団体

### 《概説》

福祉関係者が一堂に会し、被表彰者の功績を顕彰することにより、更なる活動の飛躍と関係者の福祉活動に取り組む励みの場となるとともに、講演会を通して、「子どもを自立して生きていける魅力的な大人」に育てる方法を、参加者が学べる機会を提供することが出来ました。

## (3) ふくしフェスティバル開催

ボランティア団体や福祉施設・団体に幅広く参加を呼びかけ、9月23日(金)アイレックスにおいて開催しました。参加団体・福祉施設は自分たちの活動PR努めるなか、バザーを通して住民とのふれあいの場として、また、子どもの心の豊かさを育てるおもちゃリサイクル「かえっこバザール」、川西地区自主防災会・学生ボランティアの協力を得ての防災体験「イザ！カエルキャラバン！」も開催し、社会福祉に関する市民啓発の場づくりに努めました。

年月日	内容	参加人数	場所
23. 9.23	第2回ふくしフェスティバルまるがめ	1,100名	アイレックス

参加団体により、東日本大震災の義援金を募集し、参加者の善意が寄せられ、中央共同募金会を通じて被災者に届けられました。

## (4) ホームページ等による積極的な情報提供

本会ホームページを通して各事業の啓発活動を行いました。

### 《概説》

新着情報、イベント・講座のご案内などの情報をいち早く更新することにより、市民に対し事業の啓発活動を行うことが出来ました。



#### ホームページアドレス

<http://www.marugame-shakyo.or.jp/>

## 6. 社会福祉関係団体との連携支援

### (1) 共同募金運動並びに歳末たすけあい運動の実施協力

赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい運動は、社会福祉推進の民間財源として重要な役割を果たしており、共同募金委員・関係団体や募金ボランティアと連携し、大きな成果を得ることができました。

#### 会議の開催と参加

運営委員会及び募金ボランティアへの説明会等を開催し、目標達成に向け役職員が一体となり、関係団体と協力し運動を展開しました。

#### 募金実績額

募金種別	22年度			23年度		
	目標額(円)	実績額(円)	目標額に対する割合(%)	目標額(円)	実績額(円)	目標額に対する割合(%)
共同募金	24,347,000	24,076,276	98.7	24,212,000	24,520,261	101.3
歳末たすけあい募金	6,520,000	6,146,760	94.3	6,400,000	5,977,270	93.4
合計	30,867,000	30,223,036	97.9	30,612,000	30,497,531	99.6

### (2) 共同募金運動助成事業並びに歳末見舞金給付事業

各団体・ボランティアより申請のあった助成額について、審査委員会を開催し、厳正に審査を行い、結果を運営委員会に諮り、承認を受け、県共同募金会に進達を行い、各団体・ボランティアに助成を行いました。

歳末たすけあい運動では、生活困窮世帯等の調査を実施し、寄付者の善意によって寄せられた募金を、審査委員会に諮り、見舞金として給付し生活の安定に寄与しました。

#### 共同募金助成

事業名	金額(円)	事業名	金額(円)
17地区社協活動助成事業	2,382,000	社会福祉大会開催事業	16,500
17地区防災資機材購入事業	850,000	見守りネット講演会開催事業	279,122
広報啓発事業	3,499,888	市民福祉講座開催事業	44,736
災害体験ボランティア活動事業	787,872		
子どもボランティア活動事業	108,998	合計	7,969,116

### 歳末見舞金給付

事業名	金額(円)	事業名	金額(円)
生活困窮世帯見舞金	3,150,000	防災機材整備事業	371,770
在宅ひとり親児童見舞金	228,000	困窮者支援事業	100,000
施設等見舞金	1,968,000	合 計	5,817,770

#### ア. 生活困窮世帯

(平成23年12月調査)

	世 帯 数	人 数
生 活 困 窮 世 帯	189 世帯	379 名
前年度	202 世帯	404 名

#### イ. 在宅ひとり親児童

(平成23年12月調査)

	世 帯 数	人 数
在 宅 ひ と り 親 児 童	45 世帯	76 名
前年度	43 世帯	70 名

#### ウ. 施設入通所者(市内出身者)

(平成23年12月調査)

区 分	項 目	施 設 数	人 数
	身体障害者援護施設	10 施設	68 名
	老人福祉施設	5 施設	21 名
	児童福祉施設	6 施設	25 名
	知的障がい者援護施設	11 施設	91 名
	精神障がい者施設	2 施設	7 名
	指定障害者福祉サービス事業所	10 施設	130 名
	特別支援学校・聾学校児童生徒	8 施設	84 名
	そ の 他	14 施設	111 名
	合 計	66 施設	537 名
	前 年 度	66 施設	522 名

#### 概説

関係機関・団体等の協力を得て、支援対象者の把握に努めました。寄せられた寄付金は、審査委員会に諮り、適切で効果的な見舞金給付を行いました。

### ( 3 ) 民生委員児童委員活動への協力

地域福祉の第一線で活動する民生委員児童委員協議会連合会の事務局として、毎月第一水曜日開催の理事会及び毎月第二水曜日開催の主任児童委員定例会等を開催する他、会長・副会長による事前打合せ会を開催し、丸亀市民生委員児童委員協議会連合会の事務処理支援を行い、会務の充実を図りました。

### ( 4 ) 社会福祉関係団体等の活動支援

#### 障がい者団体の活動支援

丸亀市障がい者スポーツ等に積極的に参加し、当事者団体等との連携に努めました。また、本会内で丸亀市身体障害者福祉連合協会の事務処理の支援を行い、会務の充実を図りました。

#### 中学生徒弁論大会への協力

6月8日に開催された丸亀地区保護司会主催する、「第62回丸亀市中学生徒弁論大会」に審査委員として参加し、上位者へ記念品を授与しました。

#### 学生の実習受け入れ指導

県内外の大学より将来、社会福祉士として活躍することを志す学生を受け入れ、社会福祉援助技術現場実習の指導にあたりました。

受入期間	学校名	受入人数
平成24年1月10日～2月1日	健康科学大学	1名

## 7. 介護サービス事業の充実

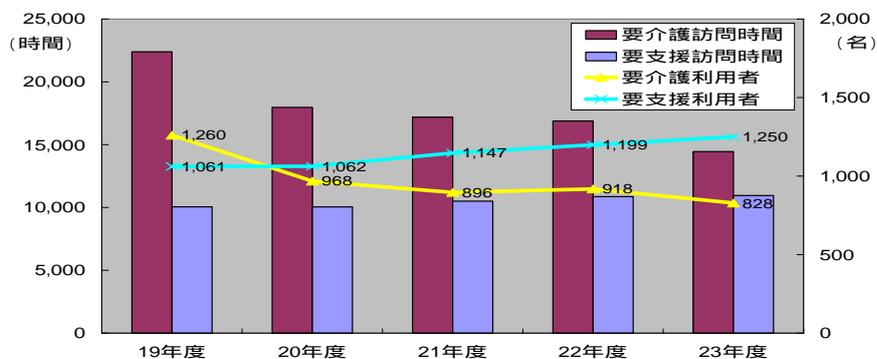
### (1) 介護保険事業

#### 指定訪問介護・介護予防訪問介護事業（ホームヘルパー）

要介護認定を受けた高齢者等に対し訪問介護員を派遣し、食事・入浴・排泄等の身体介護や、炊事・掃除等の生活援助などのサービス提供を行いました。また、離島等の支援困難地域へ積極的にヘルパーを派遣し、利用者の居宅における日常生活の維持・向上に努めました。

#### 利用状況

区 分		年 度				
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用者数 (名)	要介護	1,260	968	896	918	828
	要支援	1,061	1,062	1,147	1,199	1,250
合 計		2,321	2,030	2,043	2,117	2,078
訪問時間 (時間)	要介護	22,394.0	17,967.0	17,189.5	16,885.5	14,451.5
	要支援	10,051.5	10,045.0	10,503.0	10,865.0	10,955.0
合 計		32,445.5	28,012.0	27,692.5	27,750.5	25,406.5

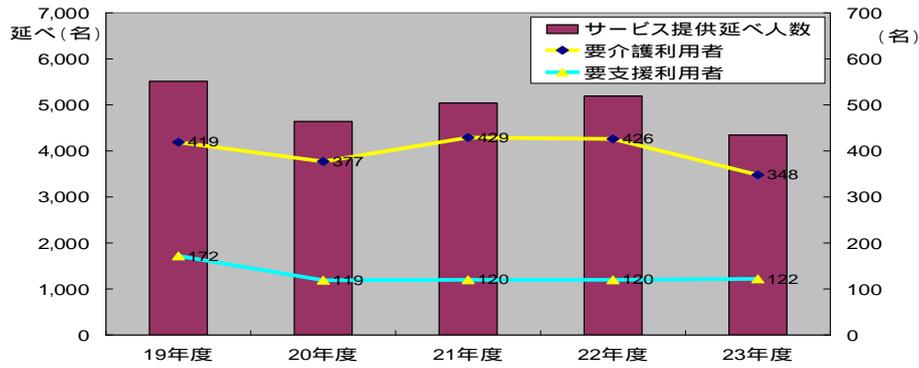


#### 指定通所介護・介護予防通所介護事業（デイサービス）

要介護認定を受けた高齢者等に対して音楽療法、レクリエーション、入浴介助、食事介助等を行い、利用者の身体機能の維持と生活の質の向上に努め、居宅における家族介護負担の軽減を図りました。

#### 利用状況

区 分		年 度				
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用者数 (名)	要介護	419	377	429	426	348
	要支援	172	119	120	120	122
合 計		591	496	549	546	470
サービス提供延べ数(名)		5,512	4,641	5,043	5,192	4,345

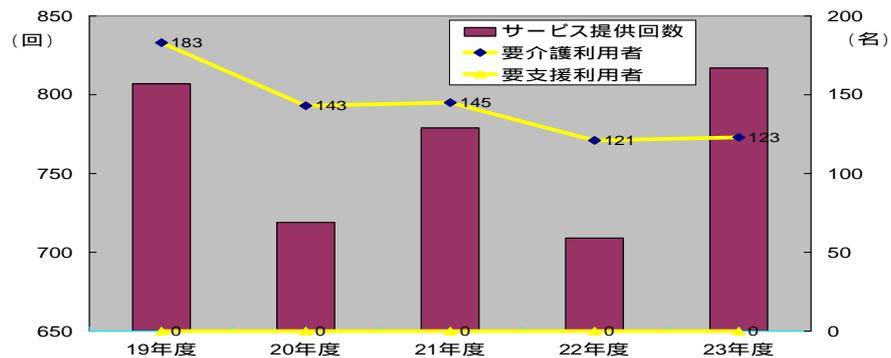


### 指定訪問入浴・介護予防訪問入浴介護事業（入浴車による家庭入浴）

巡回入浴車を使用し、要介護認定を受けた高齢者等に対して入浴サービスを提供し、利用者の日常生活の援助と介護者の負担の軽減を図りました。また、必要に応じて協力医に助言をいただくことにより、安全確実な事業展開に努めました。

#### 利用状況

区 分		年 度				
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用者数 (名)	要介護	183	143	145	121	123
	要支援	0	0	0	0	0
合 計		183	143	145	121	123
サービス提供回数(回)		807	719	779	709	817

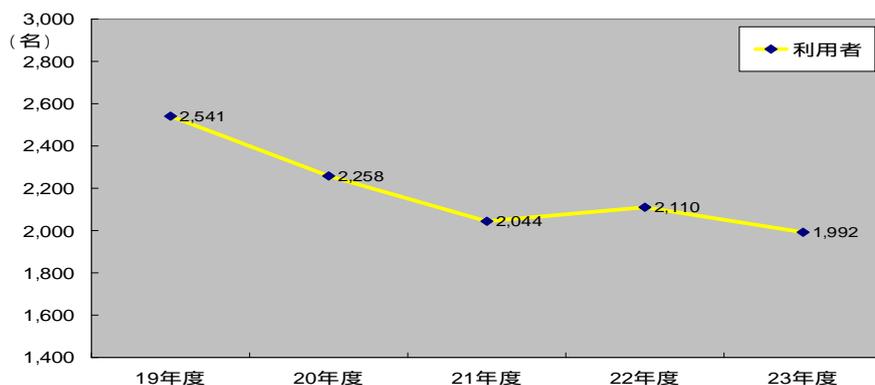


### 指定居宅介護支援事業（ケアマネージャー）

要介護認定を受けた高齢者等に対し、日常生活における相談助言を行い、居宅サービス計画を作成し、高齢者等の自立に向けての支援を積極的に行いました。

#### 利用状況

区 分		年 度				
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用者数(名)		2,541	2,258	2,044	2,110	1,992



## 《概説》

本年度は、担当制から課制へと組織体制を変更し、指揮命令系統・責任・権限を明確化し、介護事業中期3ヵ年計画に基づいた事業所基礎体制の強化を重点項目に掲げ、利用者へのサービス向上と事業運営のための安定的な収益確保に取り組みました。

訪問介護事業では、平成23年1月より特定事業所加算を取得しましたが、その加算対象となる要介護利用者の減少により収入減となりました。今後は、介護給付費の増大懸念のため、介護認定の厳格化による介護度軽度化が予想されており、ニーズに基づいた実費生活援助などの新たなサービス形態を取り入れ、顧客確保に努めます。また、離島における医療と介護の連携を図るため、地域住民や民生委員、診療所医師との連携を強化します。

通所介護事業では、民間事業所の増加により利用者数が減少し、大幅な収入減となりました。今後は、根本的にサービス内容を見直し、特にあたたかい食事の提供、レクリエーション内容の充実、機能訓練体制の強化を柱とした改善に取り組み、既存利用者の満足度を高めるとともに、広報活動を強化し新規利用者の獲得を図ります。

訪問入浴介護事業では、利用対象者が限定されているため、一人あたりの利用回数を増やすことでサービス提供増に繋がりました。今後は、消耗品などの経費節減をさらに徹底し、さらなる改善を図ります。

居宅介護支援事業では、平成23年6月より特定事業所加算を取得し、収益が改善しました。今後は、質の高い安定したサービス提供を継続し、すべての介護サービスの入口となる事業として、より多くの利用者の多様なニーズに対応するために職員を増員し、事業強化に努めます。

平成24年度は、介護報酬改定により、事業所運営は大変厳しいものとなることが予測されます。そのため、昨年度策定いたしました介護事業中期3ヵ年計画を見直し、各事業での具体的な取組みを実行するとともに、有期雇用職員の処遇改善や職員研修の充実を図り、事業基盤を強化します。また、介護相談窓口を開設し、近年増加している介護問題の解決を地域福祉課との連携をもって支援することで、身近で信頼される安心安全な事業所運営に努めてまいります。

## (2) 受託運営事業

### 老人ホームヘルプサービス事業

老人ホームヘルプサービス事業(軽度生活援助事業・生活管理指導員派遣事業)を受託し、介護保険の対象とならない一人暮らし高齢者や虚弱高齢者等で真にサービスが必要な方に対し、安定した自立生活が送れるよう家事サービス・生活指導等を実施しました。

**(ア) 軽度生活援助事業利用状況**

区 分 \ 年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用者数(名)	473	480	447	480	384
サービス提供回数(回)	2,527	2,563	2,433	2,805	2,094

**(イ) 生活管理指導員派遣事業利用状況**

区 分 \ 年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用者数(名)	113	105	97	85	56
サービス提供回数(回)	610	548	510	479	372

**生きがい活動支援通所事業**

生きがい活動支援通所事業を受託し、介護保険の対象とならない一人暮らし高齢者や虚弱高齢者等で真にサービスが必要な方に対し、要介護状態等にならないための生活指導・軽体操等を実施しました。

**利用状況**

区 分 \ 年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
サービス提供延べ数(名)	4,325	4,049	3,761	3,193	3,181

**介護予防居宅支援事業（介護予防ケアマネージャー）**

介護予防居宅支援事業を受託し、要支援者の居宅介護計画作成を行いました。また、ケース検討会等に積極的に参加し行政との連携を深め、地域における在宅福祉の強化に努めました。

**利用状況**

区 分 \ 年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用者数(名)	633	349	284	381	433

**移動支援事業（ガイドヘルパー）**

移動支援事業を受託し、屋外での移動に困難がある障がい児(者)に対して、地域における自立生活及び社会参加を促す外出のための介助を行いました。

**利用状況**

区 分 \ 年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用者数(名)	43	88	91	102	99
サービス提供時間(時間)	411.0	628.0	599.5	739.0	783.0

### 子育てホームヘルプサービス事業

子育てホームヘルプサービス事業を受託し、一時的に育児援助や家事援助等を必要とする児童（0歳児から小学3年生）を養育している世帯に、育児負担の軽減を図るためホームヘルパーを派遣しました。23年度は、延べ1世帯15時間のサービスを実施しました。（平成22年度実績：延べ1世帯10時間）

### 難病患者等ホームヘルプサービス事業

本年度は利用がありませんでしたが、今後も広報活動を積極的に行ってまいります。

## 《概説》

丸亀市より老人・児童・障がい児（者）等の事業を受託し、サービス提供を行いました。

老人ホームヘルプサービス事業では、離島をはじめとした利用者の居宅にヘルパーを派遣し、住み慣れた地域において自立して暮らせるよう、生活を支援するサービスを提供しました。しかし、利用対象者が年々減少しており、今後は利用者ニーズの変化に対応した仕組みづくりが必要となっています。

生きがい活動支援通所事業では、「あやうた温泉湯舟道」の設備改修工事により、本年度も3ヶ月の間、拠点を飯山に移して事業を行った影響で、年間を通じて利用者減となりました。今後は、レクリエーション内容の充実を図り、利用者満足度の向上に努めるとともに、閉じこもりがちな高齢者の外出機会を増やすことで、孤立化の解消や介護予防の推進を図ります。子育てホームヘルプサービス事業、介護予防居宅支援事業、移動支援事業では利用者の立場に立った支援に努めたことで、利用者および提供時間ともに増加となりました。

平成24年度は、団塊世代が65歳以上の年齢となり、また、介護予防の観点からもサービスニーズは徐々に高まりをみせることが予想されるため、利用者の声を大切にし、行政との連携強化に努め、サービス提供してまいります。

## （3）障害者自立支援事業

### 居宅介護事業（障がい者ホームヘルパー）

様々なハンディキャップを持つ障がい者が、その地域や居宅において安心して自立した日常生活を営むことができるよう訪問介護員を派遣して、身体介護・家事援助等のサービスを行いました。

### 利用状況

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用者数(名)	447	390	358	320	299
訪問時間(時間)	8,126.0	4,735.5	4,682.0	4,825.0	4,855.5

### 重度訪問介護事業（障がい者ホームヘルパー）

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用者数(名)		31	24	24	24
訪問時間(時間)		2,559.0	2,004.0	2,005.5	2,064.5

## 《概説》

障害者自立支援事業は、地域における包括的な支援体制の強化が重要であり、丸亀市や関係機関との密な連携をもって事業展開しました。

平成24年度は、障害者自立支援法後の新たな枠組みが段階的に実施されるため、制度動向等に留意し、利用者のサービス向上に努めてまいります。

## (4) 職員研修の充実

関係機関との会議や研修会に参加し、職員の知識や技術向上に努めました。また県外研修にも積極的に参加し、全国の事業所との意見交換や情報収集をすることで、責任意識の向上や技術レベルアップを図りました。本年度は研修会等に、延べ142名の職員が参加しました。

年月日	研修内容	場所
23. 4. 19	居宅介護支援事業者職員研修会	丸亀市
5. 12	平成23年度レクリエーション・アクティビティ研修会	高松市
5. 13 / 6. 17 10. 12	居宅介護支援事業者連絡会	丸亀市
5. 25	平成23年度短期専門コース（サービス提供責任者の業務）	高松市
6. 8 / 6. 19 6. 23 / 7. 14 7. 23	平成23年度介護支援専門員専門研修過程 （スキルアップ研修）	高松市
7. 3 24. 3. 4	平成23年度香川県ホームヘルパー協議会スキルアップ研修会	高松市
23. 7. 12	採用実務者講習会	高松市
7. 15 / 7. 16 7. 22 / 7. 23	平成23年度介護福祉士実習指導者研修	高松市
7. 22	災害時の社会福祉協議会活動検討会	高松市
7. 22	平成23年度訪問介護適正実施研修会	高松市
7. 22 / 10. 22	通所介護計画セミナー（正しい通所介護計画の作り方）	高松市
7. 24 / 8. 11 8. 23 / 9. 25 10. 16 / 10. 24	平成23年度介護支援専門員専門研修過程 （スキルアップ研修）	高松市
8. 22	高松市社会福祉協議会関係者研修会 （創立60周年記念事業）	高松市
9. 5	平成23年度障害福祉サービス事業者集団指導	高松市
9. 7 / 9. 8	平成23年度福祉従事者等キャリアアップ支援研修会 （介護課程の実践的展開）	高松市
9. 14	介護事業所雇用管理責任者講習会 （専門コース・経営管理改善）	高松市

年月日	研修内容	場所
23. 9.16	平成23年度福祉従事者等キャリアアップ支援研修会 (セーフティマネジメント)	高松市
9.28	平成23年度福祉従事者等キャリアアップ支援研修会 (利用者の全人的理解と尊厳)	高松市
9.29 / 9.30	移動支援従事者(ガイドヘルパー)養成研修 (全身性障害者)	高松市
10. 1 / 10. 2 10. 3	社会福祉法人経営者研修会～サービス管理コース～	神奈川県(町外)
10. 5 / 10. 6 10. 7	社会福祉法人経営者研修会～経営管理コース～	神奈川県(町外)
10. 5	平成23年度福祉従事者等キャリアアップ支援研修会 (ダイバーショナルセラピー)	高松市
10.12	平成23年度福祉従事者等キャリアアップ支援研修会 (ケア現場での気づきと助言)	高松市
10.15 / 10.22	移動支援従事者(ガイドヘルパー)養成研修 (視覚障害者)	高松市
10.17	介護事業所雇用管理責任者講習会 (総合コース・見直そう雇用管理の基本)	高松市
10.26 / 12. 6 24. 2. 1	道場「竹輪天」塾	高松市
23.11.10	第9回まるがめ認知症の予防と介護を考える会	丸亀市
11.11	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等(不特定多数の者対象)の研修についての説明会	高松市
11.14	介護事業所雇用管理責任者講習会 (専門コース・リスクマネジメント)	高松市
11.17 / 11.24 12. 7	平成23年度訪問介護計画作成・展開研修会	高松市
11.18	丸亀市薬剤師会研修会 (脳卒中のシームレスな医療福祉連携)	丸亀市
11.18 / 11.23 12.16 / 12.22 24. 1.26 / 1.30 2. 8 / 2. 9 3. 8	平成23年度主任介護支援専門員研修会	高松市
23.11.25	平成23年度福祉従事者等キャリアアップ支援研修会 (“介護”“遊び”こそリハビリテーション)	高松市
11.26 / 11.27	第9回日本通所ケア研究大会	広島県福山市
11.27	平成23年度四国ブロックホームヘルパー研修会	高松市
12. 1	平成23年度精神障害者ホームヘルパー研修会	丸亀市
12. 5	第31回市民のつどい人権週間講演会	丸亀市

年月日	研修内容	場所
23.12. 9	平成23年度福祉従事者等キャリアアップ支援研修会 (認知症)	高松市
12.13	介護事業所雇用管理責任者講習会 (専門コース・会社を成長させるための人事労務)	高松市
12.22	平成23年度福祉サービス苦情解決事業研修会	高松市
24. 1.13	メンタルヘルスケアセミナー	高松市
1.18	介護事業所雇用管理責任者講習会 (専門コース・組織運営と人材育成)	丸亀市
1.16 / 1.17 1.18	市区町村社会福祉協議会管理職員研修会	神奈川県(町)外)
1.27	成人支援施設見学・説明会	高松市
2. 8	介護施設等人材確保力向上研修会	坂出市
2.10	介護事業経営研究会セミナー(改正介護保険法の徹底対策 と激震!改正介護報酬の行方)	高松市
2.15	介護事業所雇用管理責任者講習会 (総合コース・雇用管理総論ポイント)	高松市
2.15	平成23年度合同研修会 (通所リハビリテーションと介護支援専門員との連携)	丸亀市
2.21	中讃西自立支援協議会研修会 (つなぎ法におけるサービス利用計画と個別支援計画)	善通寺市
2.24	難病研修会	高松市
3. 9	制度改定による介護事業所集団指導	高松市
3.13 / 3.14	平成23年度サービス提供責任者研修会	東京都港区
3.19	2012年ケアマネージャー研修会 in 高松 (次期介護保険法改正講演会)	高松市
3.23	制度改定による障害福祉サービス事業所集団指導	高松市
3.23	香川県老人福祉施設協議会軽費部会研修会	高松市

## (5) 利用者保護及び事業の透明性確保のための苦情解決事業

### 苦情相談受付窓口の設置

介護サービス事業等に関する苦情については、利用者等の立場や環境に十分配慮し、誠意をもって対応しました。平成24年度においても適切な苦情解決を図るため、会議研修等に積極的に参加し、職員の資質向上に取り組んでまいります。

### 苦情解決第三者委員会の開催

本年度は審議案件なしのため、非開催としました。

## 8 . 経営体制の強化

### ( 1 ) 経営基盤の充実

#### 理事会・評議員会の開催

会議名	年月日	出席者	付 議 事 項
理 事 会	23. 5.27	1 3 名	・平成22年度事業報告・決算について ・人事案件 2件 ・報告事項 1件
	6. 1	1 5 名	・会長・副会長の選任について ・人事案件 4件 ・諸規程案件 1件
	9.22	1 4 名	・定款の一部変更について ・保育所に関する案件 5件 ・諸規程案件 7件 ・人事案件 2件 ・報告事項 2件
	12.26	1 2 名	・平成23年度補正予算(案)について ・定款の一部変更について ・諸規程議案 4件 ・保育所に関する案件 4件 ・報告事項 6件
	24. 2.28	1 7 名	・競艇場新施設における福祉売店参画について
	3.21	1 3 名	・平成23年度補正予算(案)について ・平成24年度事業計画・予算(案)について ・諸規程案件 4件 ・報告事項 1件
評 議 員 会	23. 5.27	2 3 名	・平成22年度事業報告・決算について ・人事議案 1件 ・報告事項 1件
	9.22	2 3 名	・定款の一部変更について ・人事案件 1件 ・報告事項 3件
	12.26	2 6 名	・平成23年度補正予算(案)について ・定款の一部変更について ・保育所に関する案件 2件 ・報告事項 6件
	24. 3.21	2 5 名	・平成23年度補正予算(案)について ・平成24年度事業計画・予算(案)について ・報告事項 2件

#### 《概説》

理事会6回、評議員会4回開催し、業務や経営状況等の議題審議について承認を得ました。

本年度は、新規事業となる保育所経営参画についての進捗状況の報告に努め、9月、12月の役員会では、保育所開設に関する諸案件の承認をいただきました。

また、平成17年の合併に伴い、定数増となっていた役員数については、活発な議論が行えるよう定数をスリム化し、新しい子育て分野への事業展開に併せた選出区分の見直しを行いました。

今後も、法令遵守、説明責任を重要な組織運営の基礎とし、社協に期待される社会的責任を果たしてまいります。

### 組織体系の見直し

利用者ニーズに則したサービスの質や効率性を高めるためには、広い視野に立ったの協調や連帯の機能が重要です。そのため、4月より従来の4担当制から新たに3課制を導入しました。課の中で機能的及び合理的な事務事業を遂行するためのグループを編成しました。このグループ機能を活用し、指揮命令系統、責任・権限を明確にしながら、柔軟性のある組織を築いてまいります。

### 目標管理制度の充実

平成22年度に試行的に導入した目標管理制度を、今年度は、組織の目標が各課の中で展開され、職員のモチベーション向上、自己成長、組織の活性化へとつながるよう推進してまいりました。管理職として期待される職務遂行能力を身につけるため、管理職員は毎月1回、目標達成度のフォローを実施しました。次のステップとして、他の職員と共に、目標と結果の差異分析を行い、次期の目標達成に必要な改善ポイントを明らかにしてまいります。

### 職員研修の充実

各々の事業におけるサービスの実践や業務遂行の中心的な担い手である職員のモチベーションを高め、チームワークと組織の活性化を図るため、正規職員を対象に「リーダーレベルアップ研修」を開催しました。

今後も、研修を人事管理の一環として位置付け、その成果が、利用者サービスの向上や住民のニーズに貢献できるよう継続してまいります。

#### 〔基礎研修〕

年月日	研修内容	場所
23. 7.14 ~ 15	中国・四国都市社協連絡協議会 定期総会	愛媛県松山市
8.22	高松市社協関係者研修会	高松市
11.10 ~ 11	平成23年度第1回施設長実学講座「職員の指導と人材育成について」	東京都
24. 1.15 ~ 18	市区町村社会福祉協議会 管理職員研修会	神奈川三浦郡
2.22	丸亀市職員研修「管理職研修」	丸亀市
2.25 ~ 26	社協職員リーダー研修「職場の活性化シリーズ講座」	丸亀市

#### 〔専門研修(総務)〕

年月日	研修内容	場所
23. 6.16	プレミアムセミナー	高松市
8.10	社会福祉法人会計基準セミナー	高松市
8.23	人事管理基礎研修	高松市
10.18	情報セキュリティ研修会	丸亀市
24. 1.13	社会福祉法人新会計基準研修会	高松市
24.2.2~5	「ファンドレイジング・日本2012」	東京都
2.6~8	市区町村社協基幹職員研修会 コミュニティワーク研修会	金沢市

〔 専門研修(地域福祉) 〕

年月日	研 修 内 容	場 所
23. 4. 7	日常生活自立支援事業専門員研修会	高松市
4. 19	高齢者総合相談連携研修会(第1回)	丸亀市
5. 24	高齢者総合相談連携研修会(第2回)	丸亀市
5. 24	日常生活自立支援事業新規登録者生活支援員研修会	高松市
5. 25	高齢者総合相談連携研修会(第3回)	丸亀市
6. 2	日常生活自立支援事業専門員研修会	高松市
6. 8	丸亀地区生活福祉・就職支援協議会	丸亀市
7. 8	日常生活自立支援事業生活支援員集合研修会	高松市
7. 22	災害時の社会福祉協議会活動検討会	高松市
7. 23	日常生活自立支援事業専門員研修会	高松市
8. 4	地域福祉実践活動研修会	高松市
8. 8	日常生活自立支援事業専門員研修会	高松市
8. 9	共同募金従事者研修会	高松市
8. 18 ~19	じぶんの町を良くする会議 第2回赤い羽根ミーティングin東京	東京都
9. 1・12. 1 24. 1. 6	日常生活自立支援事業専門員研修会	高松市
9. 2	ファミリー・サポートネットワーク全国交流集会	大阪市
10. 3	日常生活自立支援事業専門員研修会	高松市
10. 7	丸亀市家庭等における暴力対策連絡会	丸亀市
10. 7	相談事業に関する研修会	高松市
10. 12	県内ファミサポ連絡会	坂出市
11. 11	成年後見制度人材養成研修会(第1回)	高松市
11. 16	地域支え合い事業中讃ブロック研修会	善通寺市
11. 18	成年後見制度人材養成研修会(第2回)	高松市
11. 19	日常生活自立支援事業専門員研修会	高松市
11. 22	高齢者総合相談連携研修会(第3回)	丸亀市
11. 25	見守り活動推進研修会	高松市
11. 26 ~27	第5回全国校区・小地域福祉活動サミットin宇治 平成23年度地域の福祉力セミナー	京都府宇治市
11. 26 ~27	第9回日本通所ケア研修大会 これからの新しいデイ~地域包括ケアの中でのデイの役割~	広島県福山市
11. 29	成年後見制度人材養成研修会(第4回)	高松市
12. 1	日常生活自立支援事業専門員研修会	高松市
12. 5	コミュニティソーシャルワーク研修会	高松市
12. 15	地域生活支援関係職員研修会	丸亀市
12. 20	企業・団体のための地域貢献活動研修会	高松市
12. 22	福祉サービス苦情解決事業研修会	高松市
24. 1. 6	日常生活自立支援事業専門員研修会	高松市
24. 1. 24	ボランティアコーディネーター研修会	高松市
2. 16	日常生活自立支援事業生活支援員等ブロック別研修会	丸亀市
2. 29	県内ファミサポ連絡会	三豊市
3. 9	日常生活自立支援事業関係機関連絡会議	高松市

## (2) 財政基盤の強化

### 自主財源の確保と効率的な財源運用

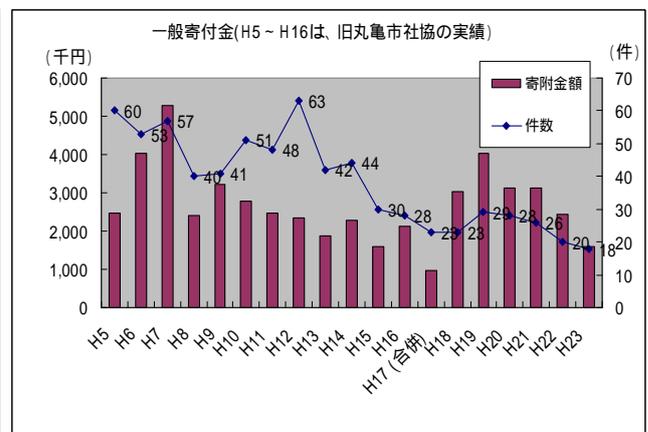
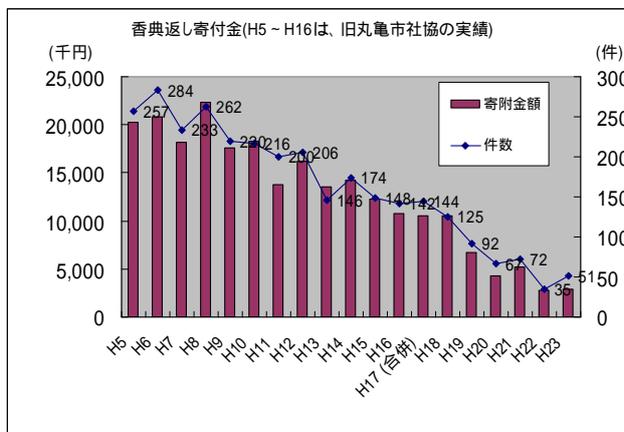
#### 《概説》

一般寄付金収入は、昨年と比較して大きく減収となりましたが、公益事業である指定管理事業及び収益事業である福祉売店事業から、それぞれ600万円を積み立てることができました。

社協の財源構造が大きく変わり、社協事業そのものも大きな広がりを見せる中で、社協の多様な事業と財源との関係を整理し、それぞれの事業にふさわしい財源によって事業を推進してまいります。

#### (ア) 寄付金収納状況

項目	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
香典返し 寄付金	125 件	92 件	67 件	72 件	35 件	51 件
	10,515,000円	6,748,000円	4,295,000円	5,210,000円	2,820,000円	2,870,000円
一 般 寄付金	23 件	29 件	28 件	26 件	20 件	18 件
	3,042,230円	4,028,872円	3,121,608円	3,134,981円	2,422,558円	1,594,964円
物品寄付	14 件	10 件	20 件	16 件	16 件	18 件
						649,080円





かがわ子育て親育ちの会様より  
(一般寄付金)



三菱電機(株)受配電システム製作様  
より (20万円相当の物品寄付)



マルハン丸亀店様より  
(車いすの寄付)

(イ) 積立状況

名 称	前年度繰越金	増 減 額	決 算 額	〔内、利息収入〕
福 祉 ・ 災 害 積 立 預 金	223,660,021円	16,711円	223,676,732円	456,711円
福 祉 推 進 資 金 運 用 積 立 預 金	212,886,594円	12,507,000円	200,379,594円	417,289円
介 護 保 険 事 業 安 定 積 立 預 金	154,912,527円	30,282,162円	185,194,689円	142,162円
合 計	591,459,142円	17,791,873円	609,251,015円	1,016,162円

## 9. 会員制度への理解促進

### (1) 地区コミュニティを単位とした周知の機会を確立

『社協会員制度』は、住民が地域福祉を自らの活動として受け止め、参画していただくという意味からも貴重な自主財源であり、また社協活動の拡充、主体性の強化のためにも必要な財源です。

域福祉活動の担い手である福祉協力員の研修会に参加し、事業内容だけでなく、会費制度について説明し、理解の促進に努めました。

年月日	開催場所	年月日	開催場所
23. 7. 3	富熊コミュニティセンター	23. 7. 21	郡家コミュニティセンター
7. 8	栗熊コミュニティセンター	7. 23	城坤コミュニティセンター
7. 9	岡田コミュニティセンター	7. 23	土器コミュニティセンター
7. 12	広島コミュニティセンター	7. 30	垂水コミュニティセンター
7. 12	城北コミュニティセンター	8. 7	城乾コミュニティセンター
7. 13	飯山南コミュニティセンター	8. 28	城南コミュニティセンター
7. 21	城西コミュニティセンター	8. 29	本島コミュニティセンター

(丸亀市福祉協力員委嘱状交付式及び研修会)

### (2) 広報誌やホームページを活用した周知の徹底

広報誌「かけはし」に、加入促進コーナーを設け、地域福祉活動への参加を促すとともに団体会員の芳名を掲載し、情報の開示を図りました。

パンフレットやホームページを活用し、今後も会費の用途を明確に示し、住民の目線に立った、わかりやすい情報提供に努め、広く社協の理解促進を目指します。

### (3) 会員加入状況

#### 会員・会費の状況

会員区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
一般会員	25,751世帯	25,618世帯	25,458世帯	25,138世帯	24,723世帯	24,925世帯
	7,727,500円	7,685,400円	7,637,400円	7,541,400円	2,472,300円	2,492,500円
賛助会員	382名	368名	321名	352名	278名	263名
	614,000円	599,000円	556,000円	581,000円	507,000円	486,000円
団体会員	158団体	156団体	179団体	189団体	189団体	184団体
	661,000円	700,800円	886,000円	908,000円	958,000円	914,000円
合計	9,002,500円	8,985,200円	9,079,400円	9,030,400円	3,937,300円	3,892,500円

## 10. 保育所開設準備

### (1) 保護者・地域住民への理解促進

塩屋・塩屋北保育所の統廃合、丸亀市初の公立保育所民営化の実施について、保護者や地域住民の理解と協力を得るため、説明会に出席しました。

年月日	内 容
23. 7.15	塩屋・塩屋北保育所保護者会合同説明会・統合民営化等について
8.20	(新)塩屋保育所統廃合民営化説明会
12. 9	塩屋保育所・塩屋北保育所の統合民営化に関する保護者説明会

### (2) 三者協議会の設置

塩屋保育所保護者会・塩屋北保育所保護者会、丸亀市、本会の三者による協議のもと、しおや保育所運営について具体的な取り決めを行いました。

年月日	主 な 協 議 内 容	
23. 7.25	三者協議会設置要領の制定	
8.24	第1回三者協議会	役員を選出 今後のスケジュール及び協議事項の確認 他
9.28	第2回三者協議会	「職員体制」「給食」「特別保育」「保育所名称」「クラス名」「保育目標」「休所日・保育時間」「給食」「嘱託医」「保護者・学校・地域との連携」「駐車場並びに安全確保」「遊具」「塩屋・塩屋北保育所の交流」について 他
11. 2	第3回三者協議会	「延長保育・土曜終日保育」「制服・遊び着・持ち物」「保育所行事等」について 他
11.22	第4回三者協議会	「市職員の派遣」「延長保育・土曜終日保育」について 他
24. 1.25	第5回三者協議会	「市職員の派遣」「塩屋北保育所閉所式」「しおや保育所開所式及びオープニング行事」について 他
2.22	第6回三者協議会	「しおや保育所入所児童数」「園章」「園歌」「開所式」「入所式」「職員体制」について 他
3.28	第7回三者協議会	「クラス編成」「三者懇談会」について 他

### (3) 職員採用

正規職員13名、有期雇用職員19名を新規採用。派遣職員10名が決定し、職員体制を整えました。

	年月日	内 容
正規職員の採用 について	23. 8. 4 ~ 5	第1回 職員採用試験事前説明会
	9. 22	第2回 職員採用試験事前説明会 受験申込書配布
	9. 24 ~ 29	受験申込受付
	10. 16	採用試験
	10. 27	採用者決定
有期雇用職員の 採用について	12. 16	有期雇用職員募集事前説明会
	12. 27 ~ 24. 1. 4	有期雇用職員募集巡回説明会(市内15保育所)
	24. 1. 15 1. 29	有期雇用職員募集要項 新聞広告掲載
	24. 1. 19 ~ 2. 7	採用面接
	2. 8	採用者決定
市派遣職員につ いて	12. 7	市派遣職員についての説明会 公立保育所保育士対象
	2. 8	市派遣職員決定

### (4) 保育所開設に向けた理事・評議員への承認・報告

丸亀市9月定例議会で丸亀市保育所条例の一部改正について、塩屋、塩屋北保育所の廃止(平成24年3月31日付)が議決されました。丸亀市が正式に意思決定したことを受け、保育所設置認可に必要な諸手続きを進めました。

会議名	年月日	内 容
理 事 会	23. 9. 22	【議案】 ・保育所関連規程の制定 他
評議員会		【報告】 ・保育所開設準備の進捗状況について
	10. 26	丸亀市と保育所業務移管に係る協定書を締結
理 事 会	12. 26	【議案】 ・保育所における事業計画(案)及び収支予算(案)について
評議員会		・保育所設置認可の申請について 他
理 事 会	24. 3. 21	【報告】
評議員会		・しおや保育所設置について
	24. 3. 28	香川県知事より保育所設置の認可を受ける

## (5) 研修等

公立保育所からのスムーズな移行を進めるために、私立認可保育園への視察をはじめとして保育所運営についての研修に参加し、情報収集に努めました。

年月日	研 修 先	場 所
23. 4.27	社会福祉法人の保育園のための経営セミナー	大阪府
4.27	本当の担当制とは？ ハンガリーの乳児保育から学ぶ	高松市
6.16 ~17	2011年度保育所長専門講座 講座プログラム 『保育所の将来ビジョン』	千葉県
6.27	社会福祉法人平安福社会 今里保育所	高松市
9.18 ~20	2011年度保育所長専門講座 講座プログラム 『新たな保育サービスの開発』	東京都
24. 1.18 ~19	2012年度保育所長専門講座 講座プログラム 『保育所の経営戦略』	東京都
2. 3	保育所経営セミナー	大阪府

# 11. 指定管理者制度における施設管理経営

## (1) 保健福祉センターの管理

丸亀市保健福祉センター・綾歌保健福祉センター・飯山総合保健福祉センターの指定管理を受け、市民に福祉活動の場の提供及び支援等を行うとともに、「サービスの向上」「経費の削減」を目標に事業を実施しました。

### 丸亀市保健福祉センター（ひまわりセンター）

#### (ア) 利用者サービス向上

- ・1階受付、3階調理室・会議室1、4階ロビーに館内案内・標示板を設置し、利用者の利便性向上を図りました。
- ・センター駐車場の車両誘導ラインを引き直し、利用者の安全確保を図りました。

#### (イ) センター利用状況

〔延べ人数〕

年度 会場		平成21年度	平成22年度	平成23年度
		1階	機能訓練室	9,839
	囲碁将棋	5,055	5,397	4,097
	ヘルストロン	1,205	3,894	4,915
合計		16,099	18,560	18,187

年度 会場		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
		延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数
3階	会議室1	7,597	344	6,695	331	6,378	325
	調理室	2,862	121	2,865	146	3,445	170
4階	会議室2	5,708	336	5,610	301	5,753	309
	会議室3	3,356	290	3,960	268	4,586	312
	会議室4	1,206	68	4,158	158	2,912	171
	研修会議室1・2	17,743	223	13,732	203	14,213	227
	研修会議室3	7,735	197	9,650	195	7,574	207
合計		46,207	1,579	46,670	1,602	44,861	1,721

### 丸亀市綾歌保健福祉センター

#### (ア) 利用者サービス向上

- ・妊婦用駐車場を確保し、子育て環境の整備を図りました。

#### (イ) センター利用状況

〔延べ人数〕

年度 会場		平成21年度	平成22年度	平成23年度
2階	プレイルーム	362	1,551	1,527

年度 会場		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
		延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数
1階	会議室	-	-	825	40	1,249	60
	相談室 1	106	37	91	29	101	28
	相談室 2	0	0	29	6	28	5
2階	研修室（和室）	1,324	70	829	61	871	60
	相談室 3	668	55	215	28	233	20
	調理実習室	1,444	76	1,115	74	1,133	74
	栄養研修室	1,480	78	1,176	77	1,166	74
合計		5,022	316	4,280	315	4,781	321

### 丸亀市飯山総合保健福祉センター

#### (ア) 利用者サービス向上

- ・ 1階プレイルーム内に授乳の場を設け、子育て環境の整備を図りました。

#### (イ) センター利用状況

〔延べ人数〕

年度 会場		平成21年度	平成22年度	平成23年度
1階	プレイルーム	424	1,224	1,175

年度 会場		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
		延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数
1階	相談室 1	101	29	63	13	44	13
	相談室 2	115	30	148	40	77	21
2階	会議研修室 1・2	2,714	98	2,948	119	3,272	107
	調理実習室	1,689	66	1,355	50	1,053	47
	栄養指導室	2,127	94	1,556	77	1,649	75
合計		6,746	317	6,070	299	6,095	263

#### (ウ) 2階老人健康施設（娯楽室及び入浴施設）利用状況

丸亀市に住所を有し、満60歳以上の年齢になる方に対し、交流の場として低額な料金でご利用いただき、地域に親しまれる施設として利用者サービスに努め、老人福祉の推進に寄与しました。

〔延べ人数〕

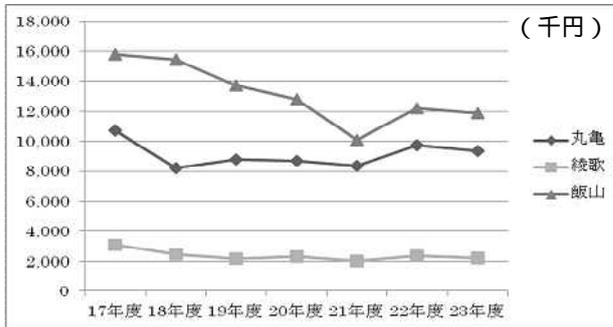
年度 会場		平成21年度	平成22年度	平成23年度
2階	老人健康施設	61,756	74,502	76,120

平成21年11月～平成22年1月（約3ヶ月）まではボイラー工事のため入浴施設を休館しました。

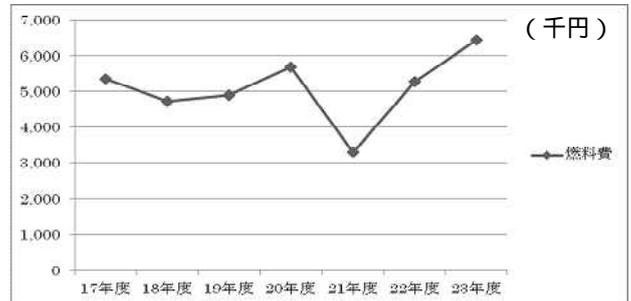
## 《概説》

経費削減等の取り組み成果によって生じた平成22年度繰越金から600万円を一般会計へ繰り出し、自主財源を確保しました。現在、重油価格の高騰により燃料費が増大していますが、電気・空調等の節電対策を徹底し、効率的な管理運営に取り組み、経費削減に努めます。

3センター光熱水費等年度別比較



飯山センター燃料費年度別比較



施設は10年を経過し、今後、経年劣化による修繕費の増大が予測されるため、修繕が必要な箇所を事前に点検し、計画的に修繕を実施することにより、適正な維持管理に努めます。

子育て環境の整備に取り組み、おむつ替え、授乳の場、こども用トイレ、妊婦用駐車場を全館に完備したことにより、「かがわこどもの駅」認定を受けました。引き続き、施設整備等を充実し、利用者サービスの向上に取り組みます。

災害・事故等の緊急連絡体制を整備し、警報発表時の対応をマニュアル化することにより、安全対策を強化しました。今後、四国沖においても大規模地震の発生が予想されることから、訓練等の実施、資材・食糧の備蓄などの整備に取り組みます。

入浴施設の衛生管理に関する講習会に参加し、専門知識を習得しました。今後は接遇マナー研修等にも積極的に参加し、運営体制の強化を図ります。

## (2) 健康づくりふれあいセンター（あやうた温泉 湯舟道）の経営

綾歌健康づくりふれあいセンター（あやうた温泉湯舟道）の指定管理を受け、市民の健康の増進、交流等を図るため、地域に根ざした利用者サービス为目标に事業を実施しました。本年度は1月1日から3月末にかけて、ボイラー工事のため約3ヶ月間休業しました。



### (ア) 利用者サービス向上

利用者の転倒防止対策のため、男子、女子浴室タイルを全面滑り止めタイルに張替えるなど、3ヶ月間の休業中に下記の工事を実施し、利用者の安全を確保するための環境整備を図りました。

- ・男子、女子浴室タイルの全面張替え
- ・浴室放送設備の設置
- ・食堂フロアマットの張替え
- ・男子、女子サウナ室天井の張替え
- ・男子脱衣所扇風機を取替え

### (イ) 温泉施設利用状況

〔延べ人数〕

年度 会場	平成21年度	平成22年度	平成23年度
温泉施設	57,589	42,346	40,177

平成23年1月1日～3月末、平成24年1月1日～3月末まではボイラー工事のため施設を休館

### 《概説》

本会がこれまで当該施設の管理運営を確実に行ってきた実績とサービス向上への取り組みなどが高く評価され、平成24年度から平成26年度（3年間）も、引き続き指定管理者に選定されました。現在、2年間の工事休業により利用者が減少していますが、社協広報誌「かけはし」、ホームページ等の広報活動により利用者の増加に取り組めます。

災害・事故等の緊急連絡体制を整備し、警報発表時の対応をマニュアル化することにより、安全対策を強化しました。今後、四国沖においても大規模地震の発生が予想されることから、訓練等の実施、資材・食糧の備蓄などの整備に取り組めます。

小規模ボイラー取扱技能講習、入浴施設の衛生管理に関する講習会に参加することにより、専門知識を習得しました。今後は接客マナー研修等にも積極的に参加し、運営体制の強化を図ります。

引き続き、利用者の意見・要望を適切に反映し、利用者の安全確保を最優先とした施設運営に取り組めます。

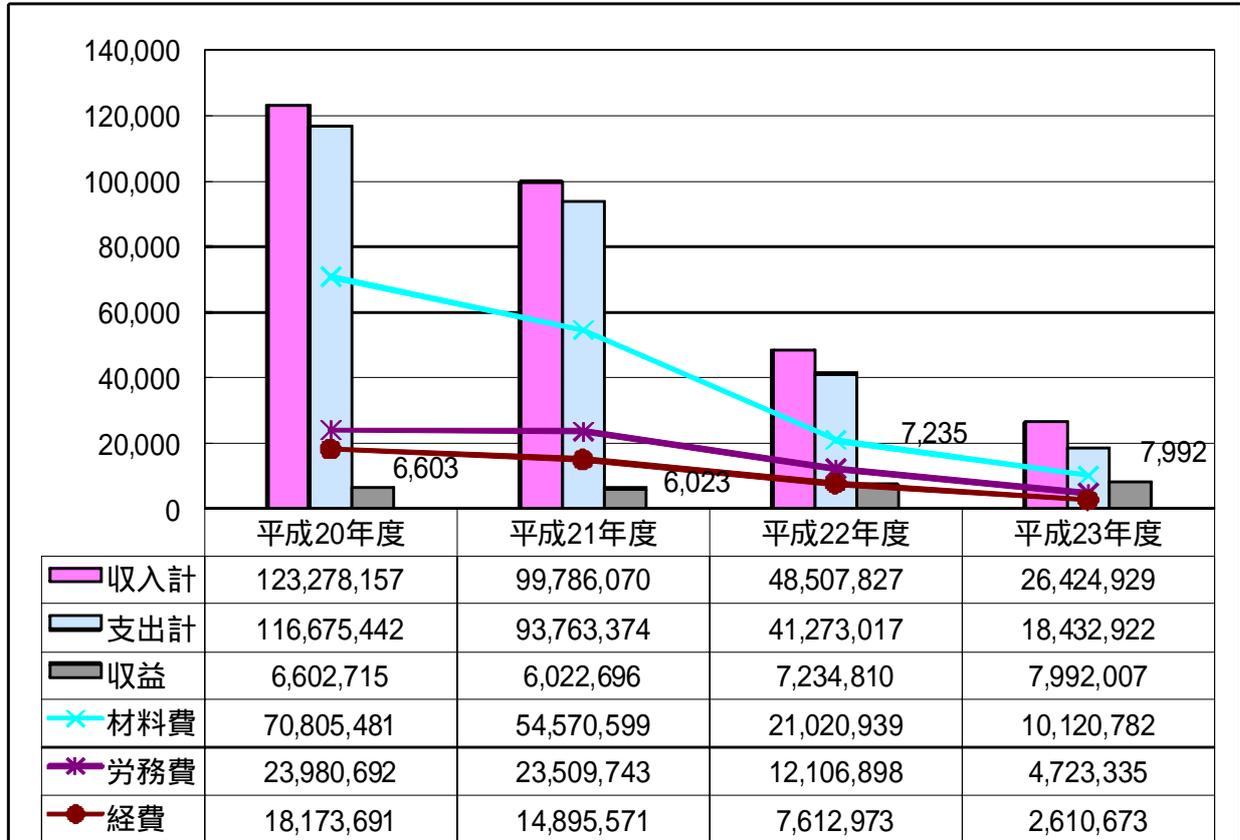
## 12. 収益事業の充実

### (1) 福祉売店の効率的経営

丸亀ボートレース場内で利用者に飲食の提供を目的に売店を営業しています。社会福祉事業に必要な自主財源を確保するため、継続的・安定的な運営を目標に事業を実施しました。

年度別収支状況

(千円)



#### 《概説》

丸亀ボートレース場施設改修工事のため、昨年に引き続き仮店舗で営業しています。

収益の状況を前年度と比較しますと、収入面では22,082千円減(前年度比46%)となったものの、支出においては、コスト削減効果により、22,840千円減(前年度比55%)となり、収益は10%アップの7,992千円の黒字となりました。

本年度は、600万円を一般会計へ繰り出し、自主財源を確保しました。

今後は新スタンドでの売店の出店中止が決定しており、自動販売機による財源確保に取り組みます。